

園児も訓練 津波避難

海の近くから1キロ歩く 松山

津波が来る前に子どもたちを安全に避難させようと、松山市西垣生町の木の実幼稚園は19日、避難訓練を行った。園児約330人と教職員22人が約1キロ離れた垣生中学校へ徒歩で避難した。

同幼稚園は海から約300メートルの位置にあり、大地震後の津波への備えは切実。子どもたちにも自分の命は自分で守る防災意識を身に付けてもらおうと昨年から実施している。19日は、大地震が発生したという園内放送で訓練がスタート。年長と年少児をペアにし、交差点横断時の隊列を工夫したりして避難。昨年は約40分かかった避難時間を21分に短縮できた。

垣生中到着後、年少

PC・携帯
動画二コース



津波を想定した避難訓練で約1キロ離れた垣生中学校まで歩いて向かう木の実幼稚園の園児

見約100人が2年生の案内で校舎4階に避難。生徒は園児の手を引き、歩幅や歩くスピードに気を付けながら、約6分で避難を完了した。中矢謙一郎理事長(39)は「去年の訓練を参考にし、避難時間を大幅短縮できた。子どもの安全のため、今後も課題を検証してスムーズな避難に生かしたい」と話していた。(武田泰和)